

# 財政運営の道しるべ

平成29年度

# 秋田市決算

問い合わせ 財政課 ☎(888)5466



## 一般会計は約15億円の黒字

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費です。平成29年度は、歳入から歳出を差し引いた22億3千522万3千円から、平成30年度に繰り越した事業の財源となる7億2千951万4千円を除いた、15億570万9千円(前年度比3.6%増)の黒字でした。

歳入では、企業の設備投資や家屋の新增築による固定資産税の増加などにより、市税が2億4千10万1千円増えました。また、庁舎建設基金繰入金の減少などにより、繰入金金が23億5千257万9千円減りました。

歳出では、採卵養鶏事業者の規模拡大を支援する新規事業などにより、農林水産業費が8億8千384万8千円増えました。また、土地区画整理会計繰出金や除排雪関係経費の減少などにより、土木費が26億3千321万2千円減りました。

## 一般会計決算額と歳入・歳出の内訳

歳入▶1,332億1,219万9千円 (前年度比 9億3,221万2千円減)

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
市税	436億3,156万5千円(32.7%)	2億4,010万1千円
国庫支出金	215億2,231万2千円(16.2%)	△1億1,365万 円
地方交付税	209億3,544万4千円(15.7%)	△2億4,964万5千円
市債	117億5,390万 円( 8.8%)	4億6,460万 円
県支出金	91億7,976万2千円( 6.9%)	9億1,758万6千円
地方譲与税・交付金	80億 539万5千円( 6.0%)	5億3,877万2千円
繰入金	49億6,175万 円( 3.7%)	△23億5,257万9千円
その他(諸収入、使用料など)	132億2,207万1千円(10.0%)	△3億7,739万7千円

歳出▶1,309億7,697万6千円 (前年度比 15億1,910万2千円減)

### 【目的別】

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
民生費	489億5,220万8千円(37.4%)	1億1,391万3千円
総務費	188億6,616万7千円(14.4%)	△4億8,367万4千円
土木費	143億1,401万9千円(10.9%)	△26億3,321万2千円
公債費	136億9,083万4千円(10.5%)	△1億8,113万8千円
教育費	110億 893万1千円( 8.4%)	1億9,515万3千円
衛生費	83億6,349万1千円( 6.4%)	△370万6千円
その他(商工費、消防費など)	157億8,132万6千円(12.0%)	14億7,356万2千円

### 【性質別】

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
扶助費	335億8,156万4千円(25.6%)	△1億7,811万2千円
人件費	221億 407万 円(16.9%)	9億7,780万6千円
物件費・維持補修費	166億6,945万 円(12.7%)	△6億9,649万1千円
補助費等	140億2,233万2千円(10.7%)	4億4,287万5千円
公債費	136億9,083万4千円(10.5%)	△1億8,113万8千円
投資的経費	127億9,441万5千円( 9.8%)	2億5,168万4千円
繰出金	88億 130万3千円( 6.7%)	△9億5,063万5千円
その他(貸付金、積立金など)	93億1,300万8千円( 7.1%)	△11億8,509万1千円

\*項目を合算して掲載しているため、一部構成比が一致しない場合があります。

↓平成29年度のおもな事業↓



北前船が日本遺産に!



新屋ガラス工房オープン



ねんりんピック秋田2017



如斯亭の公開  
じよしでい

# 特別会計は約23億円の黒字

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため一般会計と区別している会計です。平成29年度から、学校給食費の公会計化により、新たに学校給食費会計が設置されました。全体では、平成29年度の歳入決算額から歳出決算額を差し引いた22億8千30万1千円の黒字となりました。

## 特別会計のおもな内容

- 土地区画整理会計  
秋田駅東第三地区などの整備
- 市営墓地会計  
4か所ある市営墓地の管理
- 廃棄物発電会計  
総合環境センターの廃棄物発電で生じた余剰電力を、電気事業者へ売却
- 国民健康保険事業会計  
国保税の徴収、保険給付など



## 指標で見る秋田市の財政

自治体の財政の健全性を示す指標に、秋田市の平成29年度決算の数値を照らしてみました。  
\*( )内は前年度の数値。

**実質収支比率▶2.3%(2.3%)**  
財政運営の健全性を判断する指標。おおむね3～5%程度が望ましいとされています

**財政力指数▶0.667(0.659)**  
財政力を判断する指標。数値が「1」に近いほど財政力が強く、「1」を超えると財政的に余裕があるといえます

**経常収支比率▶91.1%(91.4%)**  
財政構造の弾力性を判断する指標。80%を超えると、硬直化(ゆとりがない)傾向といえます

**経常一般財源比率▶98.8%(97.8%)**  
歳入構造の安定性を判断する指標。100%を超えるほど、一般財源に余裕があり、歳入構造に弾力性があるといえます

**義務的経費比率▶51.9%(51.1%)**  
法令やその性質により支出が義務づけられている人件費・扶助費・公債費が歳出総額に占める割合。この比率が高いほど、財政構造が硬直化しているといえます

**公債費負担比率▶16.0%(16.2%)**  
一般財源総額のうち公債費に充てられた一般財源の割合。15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされています

**実質公債費比率▶10.2%(10.6%)**  
公債費に充当された一般財源の額が標準財政規模(経常的な一般財源の標準規模)に占める割合。国が示す基準値(18%)を超えると、市債の発行が制限されます

## 特別会計決算

	歳入決算額	歳出決算額
特別会計	763億1,826万7千円	740億3,796万6千円
土地区画整理会計	17億 927万7千円	16億 684万4千円
市有林会計	1億4,653万8千円	1億3,775万8千円
市営墓地会計	1億 379万5千円	9,859万3千円
中央卸売市場会計	6,744万9千円	6,642万3千円
公設地方卸売市場会計	4億 268万 円	4億 68万 円
大森山動物園会計	5億5,251万2千円	5億5,251万1千円
廃棄物発電会計	2億6,711万9千円	2億6,711万8千円
病院事業債管理会計	8億4,609万6千円	8億4,609万6千円
学校給食費会計	12億6,913万9千円	12億6,868万4千円
国民健康保険事業会計	367億7,977万2千円	353億3,599万5千円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億7,212万4千円	1億1,168万2千円
介護保険事業会計	306億4,004万4千円	300億1,332万6千円
後期高齢者医療事業会計	33億6,172万2千円	33億3,225万6千円



秋田市庁舎

- 「市債」とは、学校や道路などを整備するために国や金融機関などから借りたお金のことです。平成29年度末の市債残高(特別会計含む)は約1,430億円で、前年度から約17億円減少しました
- 秋田市では「一般会計」「特別会計」のほかに「企業会計」があります。企業会計は、上下水道局の水道・下水道・農業集落排水事業です。上下水道局の決算は、広報あきた12月7日号に掲載しています
- 秋田市の決算資料は市ホームページでもご覧いただけます  
【広報ID番号 1009200】